

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場会社名 朝日工業株式会社 上場取引所 大
 コード番号 5456 URL http://www.asahi-kg.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤松 清茂
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 中村 紀之 (TEL) 03-3987-2161
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	18,887	△8.5	△565	—	△590	—	△515	—
24年3月期第2四半期	20,637	3.8	△419	—	△410	—	△271	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △536百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △342百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△7,364.44	—
24年3月期第2四半期	△3,879.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	39,418	17,451	44.3	249,310.41
24年3月期	42,676	18,268	42.8	260,977.99

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 17,451百万円 24年3月期 18,268百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3,000.00	—	4,000.00	7,000.00
25年3月期	—	3,000.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4,000.00	7,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	△0.9	100	△48.5	50	△76.9	△170	—	△2,428.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	72,000株	24年3月期	72,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,000株	24年3月期	2,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	70,000株	24年3月期2Q	70,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、震災復興需要を背景として、緩やかな景気回復の期待があったものの、電力料金値上げなどの影響を受け、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような経済状況のもとで、当社グループの各事業では、マーケットの変化を的確に捉えた営業活動や強力なコストダウン活動に積極的に取り組んでまいりました。しかし、電力料金の大幅値上げなどの外的要因に対し、自助努力をもって吸収することが困難な状況でありました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は18,887百万円（前年同期比8.5%減）、営業損失は565百万円（前年同期は営業損失419百万円）、経常損失は590百万円（前年同期は経常損失410百万円）、四半期純損失は515百万円（前年同期は四半期純損失271百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①鉄鋼建設資材事業

鉄スクラップ価格の下落による製品価格の先安感で新規受注の獲得が減少したことや、受注済み物件で着工遅れが発生したことにより、販売数量が減少しました。また、鉄スクラップ価格下落に連動して販売価格も下降したことから、前年同期と比べ減収となりました。利益面では、電力料金の大幅値上げへの対策として、コストダウン活動や省エネルギー活動を実施しましたが、全てを吸収するには至りませんでした。さらに、製品のたな卸資産評価損が発生したことにより、前年同期と比べ減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は12,208百万円（前年同期比13.6%減）、セグメント損失は210百万円（前年同期はセグメント損失178百万円）となりました。

②農業資材事業

肥料事業では、有機肥料を中心に販売拡大に注力し、前年同期並みの売上高を確保しましたが、一部の原料にたな卸資産評価損が発生したことから、前年同期と比べ減益となりました。

園芸事業では、ホームセンターへの販売が堅調に推移したことから、前年同期と比べ増収となりましたが、出荷量拡大に伴い製品出荷費用が一時的に増加したことから、前年同期と比べ減益となりました。

種苗事業では、大玉トマト「アニモ」の栽培面積は順調に拡大しましたが、スイートコーン種子などの出荷が低調でありました。

乾牧草事業では、東北地区で自給飼料の代替需要などで販売数量が拡大したことから、前年同期と比べ増収増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は5,566百万円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益は240百万円（前年同期比24.4%減）となりました。

③環境ソリューション事業

放射能測定では、福島県内の農産物分析や震災被災地の廃棄物分析など多岐にわたる分野で受注を獲得しました。しかし、従来からの水質分析、大気分析、土壌分析などで、激しい価格競争により官公庁物件、民間物件とも前年の受注量を割り込む結果となったことから、前年同期と比べ減収減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は302百万円（前年同期比20.7%減）、セグメント損失は10百万円（前年同期はセグメント利益19百万円）となりました。

④砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業

砕石砕砂事業では、新規の販売先を獲得しましたが、大手取引先の1社が生コンクリート事業から撤退した影響を受け、販売数量が減少しました。また、マテリアルリサイクル事業では、対象地区での廃棄物発生量が減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は813百万円(前年同期比2.0%減)、セグメント損失は7百万円(前年同期はセグメント利益20百万円)となりました。

⑤その他

報告セグメント以外の事業業績は、売上高は199百万円(前年同期比11.5%減)、セグメント利益は1百万円(前年同期比62.0%減)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、上記各セグメント別売上高の合計からセグメント間の内部売上高203百万円を差引き、18,887百万円となり、営業損失は、上記各セグメント別利益または損失の合計からセグメント間の取引消去額、および管理部門経費など各事業に帰属しない全社費用の合計579百万円を差引き、565百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は16,567百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,961百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、受取手形及び売掛金の減少2,275百万円、商品及び製品の減少1,063百万円、原材料及び貯蔵品285百万円の増加等であります。

固定資産は、22,850百万円となり、前連結会計年度末に比べ296百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、有形固定資産の減少508百万円、投資有価証券(投資その他の資産)の減少135百万円、繰延税金資産(投資その他の資産)402百万円の増加等であります。

この結果、資産合計は39,418百万円(前連結会計年度末比3,257百万円減)となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、16,306百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,116百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、支払手形及び買掛金の減少3,185百万円、設備関係未払金(その他)の減少331百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加340百万円、短期借入金175百万円の増加等であります。

固定負債は、5,660百万円となり、前連結会計年度末に比べ675百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、長期借入金の増加695百万円、社債の増加210百万円、長期未払金(その他)146百万円の減少等であります。

この結果、負債合計は21,967百万円(前連結会計年度末比2,441百万円減)となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は17,451百万円となり、前連結会計年度末に比べ816百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、利益剰余金795百万円の減少等でありませ

ず。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末42.8%から44.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ196百万円増加の2,523百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャ

キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、92百万円（前年同期比85.7%減）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純損失が790百万円、仕入債務の減少額が3,185百万円となったことと、売上債権の減少額が2,275百万円、減価償却費が1,062百万円、たな卸資産（その他）の減少額が779百万円となったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、950百万円の資金支出（前年同期比57.6%減）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出が881百万円となったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,051百万円の資金増加（前年同期比48.9%減）となりました。これは主として、長期借入による収入が1,700百万円、社債の発行による収入が300百万円、短期借入金の純増加額が175百万円となったことと、長期借入金の返済による支出が665百万円、配当金の支払額が280百万円、セールアンド割賦バック取引による支出が124百万円となったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年10月25日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,327,720	2,523,817
受取手形及び売掛金	7,869,957	5,594,754
商品及び製品	6,999,313	5,935,842
原材料及び貯蔵品	1,766,327	2,052,138
その他	573,526	466,245
貸倒引当金	△7,381	△4,917
流動資産合計	19,529,463	16,567,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,958,093	3,875,845
機械装置及び運搬具(純額)	12,579,055	12,110,718
土地	2,625,758	2,659,867
その他(純額)	1,090,400	1,098,128
有形固定資産合計	20,253,307	19,744,559
無形固定資産	771,354	721,432
投資その他の資産	2,122,608	2,384,966
固定資産合計	23,147,270	22,850,958
資産合計	42,676,734	39,418,839
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,405,212	5,219,528
短期借入金	5,115,000	5,290,000
1年内返済予定の長期借入金	1,330,000	1,670,000
1年内償還予定の社債	60,000	120,000
未払法人税等	55,891	55,806
賞与引当金	337,462	281,204
その他	4,120,127	3,670,333
流動負債合計	19,423,694	16,306,873
固定負債		
社債	180,000	390,000
長期借入金	2,455,000	3,150,000
退職給付引当金	1,052,977	1,035,190
その他	1,296,602	1,085,047
固定負債合計	4,984,580	5,660,237
負債合計	24,408,274	21,967,111

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,190,000	2,190,000
資本剰余金	1,802,000	1,802,000
利益剰余金	14,374,670	13,579,159
自己株式	△293,311	△293,311
株主資本合計	18,073,359	17,277,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160,964	137,225
為替換算調整勘定	34,135	36,653
その他の包括利益累計額合計	195,099	173,879
純資産合計	18,268,459	17,451,728
負債純資産合計	42,676,734	39,418,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	20,637,697	18,887,197
売上原価	17,640,062	16,014,605
売上総利益	2,997,634	2,872,592
販売費及び一般管理費	3,417,149	3,438,478
営業損失(△)	△419,514	△565,885
営業外収益		
受取利息	288	442
受取配当金	12,193	14,526
持分法による投資利益	76,896	49,632
その他	39,597	31,632
営業外収益合計	128,975	96,234
営業外費用		
支払利息	55,689	53,339
売上割引	48,326	46,493
その他	15,732	21,024
営業外費用合計	119,748	120,857
経常損失(△)	△410,287	△590,508
特別損失		
固定資産処分損	53,466	47,958
投資有価証券評価損	—	152,039
その他	2,072	—
特別損失合計	55,539	199,997
税金等調整前四半期純損失(△)	△465,826	△790,506
法人税、住民税及び事業税	13,079	27,670
法人税等調整額	△207,344	△302,666
法人税等合計	△194,264	△274,995
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△271,562	△515,510
四半期純損失(△)	△271,562	△515,510

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△271,562	△515,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△81,733	△23,738
為替換算調整勘定	11,051	2,517
その他の包括利益合計	△70,681	△21,220
四半期包括利益	△342,244	△536,730
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△342,244	△536,730
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△465,826	△790,506
減価償却費	1,106,902	1,062,105
売上債権の増減額(△は増加)	733,435	2,275,503
仕入債務の増減額(△は減少)	△309,589	△3,185,683
その他	△354,527	795,761
小計	710,394	157,179
利息及び配当金の受取額	12,481	14,969
利息の支払額	△58,717	△58,794
法人税等の支払額	△22,493	△21,285
営業活動によるキャッシュ・フロー	641,665	92,068
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,175,992	△881,451
無形固定資産の取得による支出	△81,771	△71,293
その他	15,184	2,576
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,242,579	△950,168
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,455,000	175,000
長期借入れによる収入	650,000	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△600,000	△665,000
社債の発行による収入	—	300,000
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
セールアンド割賦バック取引による収入	1,000,000	—
セールアンド割賦バック取引による支出	△119,745	△124,525
配当金の支払額	△279,999	△280,643
その他	△19,097	△23,152
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,056,156	1,051,678
現金及び現金同等物に係る換算差額	792	2,517
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	456,034	196,096
現金及び現金同等物の期首残高	2,158,466	2,327,720
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,614,500	2,523,817

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	鉄鋼建設資材 事業	農業資材事業	環境ソリューション 事業	砕石砕砂・ マテリアルリ サイクル事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	14,123,708	5,379,563	256,092	827,941	20,587,305	50,391	—	20,637,697
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	17	125,775	2,218	128,011	174,667	△302,678	—
計	14,123,708	5,379,581	381,867	830,159	20,715,317	225,059	△302,678	20,637,697
セグメント利益 又は損失(△)	△178,757	318,807	19,847	20,291	180,189	3,730	△603,435	△419,514

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントの業務請負事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△603,435千円には、セグメント間取引消去1,100千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△604,535千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントなどに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	鉄鋼建設資材 事業	農業資材事業	環境ソリューション 事業	砕石砕砂・ マテリアルリ サイクル事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	12,208,795	5,566,313	252,507	811,713	18,839,331	47,866	—	18,887,197
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	37	50,444	1,834	52,317	151,254	△203,571	—
計	12,208,795	5,566,351	302,952	813,548	18,891,648	199,121	△203,571	18,887,197
セグメント利益 又は損失(△)	△210,816	240,999	△10,285	△7,467	12,429	1,418	△579,732	△565,885

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントの業務請負事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△579,732千円には、セグメント間取引消去△531千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△579,201千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントなどに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。